

はごろもカップ港ふれあいフェスティバル!



6月30日(日)、宜野湾港マリーナを会場に、「2013はごろもカップ港ふれあいフェスティバル」が開催されました。当日は好天に恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。沖釣り大会は、午前7時に出港。大物を狙い腕を競いました。マリンレジャー体験では、バナナボート、クルーザーやシーカヤックと海を満喫。ステージイベントとして、第3回ウクレレパリーが開催されるなど、多くの出演者が登場し観客と一体になりました。じゃんけん大会では、優勝者が一般の部で10万円分旅行券、子どもの部で25,000円分の図書券を獲得し、会場は大いに盛り上がりました。



夏の交通安全県民運動を展開!



「守ろう ルールとマナー 明るい未来」をスローガンに、夏の交通安全県民運動が展開されました。宜野湾市、宜野湾地区交通安全協会、宜野湾警察署、中城村は7月10日(水)に、中央公民館集会場において出発式を開催しました。出発式では、普天間高校の生徒代表による交通安全宣言が行われました。

また、県内で交通死亡事故が多発していることから、夏の交通安全運動に先立ち、7月1日(月)に、市役所前の国道330号において、交通指導員による交通安全アイキャッチ運動が実施されました。

防災行政無線放送が屋外放送後24時間以内において確認できます。☎ 896-2401

こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。

中学生スクールサミット開催!



7月12日(金)、中央公民館集会場において「第16回宜野湾市中学生スクールサミット」が開催されました。多くの関係者が見守る中、進行役も生徒代表が行い、元気よく活発な会が進められました。前半に、市内4中学校の代表として参加した生徒が、各学校の生徒会を中心とした取り組みについて、熱のこもった舞台発表を行いました。後半は、今年の討議題「全校生徒に生徒会活動を知ってもらい、参加してもらうにはどうしたらいいか」について意見を交換し、一人の生徒として、また生徒会としてどのように取り組むべきかを真剣に話し合いました。

「宜野湾ベイサイド情報センター」リニューアルオープン!



7月1日(月)、宇地泊にある宜野湾ベイサイド情報センター(指定管理者:琉球インタラクティブ株式会社)がリニューアルオープンしました。インターネット閲覧や研修室、プレゼンテーションルームの利用のほか、パソコンやタブレット機器、IT関連書籍の貸出しが利用できるようになりました。

新たに併設した「Gwaveカフェ」では、コーヒーを飲みながらビジネスや学習の場として利用できます。



平和を願い、オオゴマダラを放蝶!



6月26日(水)、いこいの市民パークにおいて、宜野湾ロータリークラブ(新垣義夫会長)が市内の保育園児を招き、オオゴマダラの放蝶を行いました。

毎年、慰霊の日のある6月に、平和な世界を願い、子どもたちと一緒に蝶を放つ催しを続けています。また、蝶の幼虫や成虫に触れることによって、自然の大切さや生命の大切さを感じ取ってほしいという願いが込められています。

スポーツ推進委員会の新役員です!



6月27日(木)、宜野湾市スポーツ推進委員会の新役員が佐喜眞市長を表敬訪問しました。一昨年、体育指導委員からスポーツ推進委員に名称を変え、昨年度30周年を迎えた同委員会。新たに就任した平安典典子会長は、「市民スポーツの推進・普及を図りたいと思います。」と抱負を語りました。



中学生硬式野球、国際大会へ!



6月27日(木)、硬式野球のポニーリーグアジア太平洋地域選手権大会日本代表予選会で優勝した沖縄選抜チームに所属する宜野湾ポニーズの玉那覇優真さん、金城慶也さん、仲本貴登さんの3選手と知名朝雄監督が市役所を訪問。国内予選の結果と日本代表としての抱負を語りました。

若者の元気で地域を盛り上げます!



6月27日(木)、宜野湾市青年連合会新役員が市役所を訪問しました。新たに就任した池原啓太会長は、会員でつくった千羽鶴を佐喜眞市長へ手渡し、今年度の抱負を語り宜野湾市青年エイサー祭りへの協力を求めました。若者たちの元気で地域が活性化し、ますます盛り上がることを期待しています。

日頃の想いを言葉にのせて

7月11日(木)、第23回宜野湾市「少年の主張大会」(主催:市青少年健全育成協議会)が中央公民館集会場において開催されました。市内4中学校代表の生徒が、各校から応援に訪れた生徒や関係者の前で、日頃から考えていることや感じていることなどを自分の言葉で主張しました。「ウチナーグチとの出会い」の演題で発表し、最優秀賞に選ばれた宜野湾中学校3年の仲本光輝さんは、「練習してよかった。伝統あるウチナーグチの良いところをみんなに広めていきたい」と話しました。